

SSK JALSA

長野県支部だより No.43

発行者 日本ALS協会 長野県支部事務局

長野市上野 1-680-2 原山方

Tel 026-263-6335

Fax 026-243-8820

E-mail als.naganoken@gmail.com

長野県支部ホームページ <https://als-nagano.jp/>

～トピックス～

おしゃべり広場（当事者向け）

南信地区開催

日時 2026年2月7日（土）14時～16時

会場 飯田病院 東棟3階 講堂 *Zoom参加あり

呼吸リハビリ研修会（専門職向け）

日時 2026年2月8日（日）10時～15時

会場 飯田市立病院 南棟3階 講義室A-B

<特別ゲスト&講師>

国立精神・神経医療研究センター
身体リハビリテーション部
LICトレーナー開発者

LICトレーナー



寄本恵輔氏



有明陽佑氏



目次

- ① R8年2/8(日)呼吸リハビリ研修&R8年2/7(土)おしゃべり広場
- ② R7年11/8(土)秋の交流会の様子
- ③ R7年11/16(日)全国支部担当者会議に参加しました
- ④ 追悼中嶋岳大さん・R7年12/17(水)県へ要望書提出・懇談の報告
- ⑤ わが家のりゅうぎ (赤沼さち子さん)
- ⑥ 中川真人副支部長の福祉用具相談窓口・支部連絡先
- ⑦ HALおもしろいリハビリ体験!
- ⑧ 支部の動き(R7年 9月~12月)
- ⑨ 協賛企業広告・ALSケアガイド補遺版注文受付
- ⑩ LINEオープンチャット開設のお知らせ



ALS等神経難病患者に対する

呼

吸

リハビリ研修会



ALSの方への最新治療として近年LICトレーナーや排痰補助装置のエビデンスが高まり、2023年に改訂された「ALS診療ガイドライン」にも掲載されるようになってきています。県内の患者さんに少しずつ拡がりつつありますが、実践できる支援者を増やしたいと、今年度は南信地区で研修会を計画しました。

LICトレーナー開発者である寄本先生、有明先生から直接講義を頂ける大変貴重な機会ですので、是非ご参加ください。

医療・介護・福祉従事者(医師、看護師、PT、OT、ST、ヘルパー、ケアマネジャー等)の方々に、その必要性や実際の方法をお伝えし実践して頂けたらと願っております。

なお、当事者・ご家族の方も参加可能です。一緒に呼吸リハビリを学びましょう。

日時 **2026年2月8日(日) 10:00~15:00**

場所 **飯田市立病院 南棟3階 講義室A-B**

参加費 **3,000円 (協会員 1,000円)**

定員 **30名 (医療・介護・福祉従事者)** 申込締切 **2026年1月23日(金)**

機器の体験実習あり

当日のスケジュール(予定)

09:30~ 受付開始・開場

10:00~12:00 講義

- ・神経筋疾患の呼吸障害
- ・神経筋疾患の呼吸理学療法
- ・神経筋疾患の呼吸障害の克服に向けて
- ・神経筋疾患の呼吸理学療法の最前線

12:00~13:00 休憩

13:00~15:00 体験実習

(LICトレーナー/排痰補助装置など)

講師

国立精神・神経医療研究センター
身体リハビリテーション部
LICトレーナー開発者



寄本恵輔氏



有明陽佑氏

主催 日本ALS協会 長野県支部
共催 南信州地域難病患者家族の会
後援 長野県

長野県難病相談支援センター
諏訪保健福祉事務所
飯田保健福祉事務所
伊那保健福祉事務所
飯田医師会
上伊那医師会
諏訪郡医師会
諏訪市医師会
岡谷市医師会
長野県看護協会
長野県訪問看護ステーション連絡協議会
長野県理学療法士会
長野県作業療法士会
長野県言語聴覚士会
飯伊PTOTST連絡協議会
全国パーキンソン病友の会長野県支部

協賛 株式会社星医療機器
フィリップス
カフベンテックジャパン株式会社
助成：赤い羽根共同募金

住所：長野県飯田市八幡町438

最寄駅：JR飯田線伊那八幡駅より徒歩17分(約1km)

駐車場台数：494台(内車いす使用者9台)

申し込み方法

右記のQRコードまたは、以下のメールアドレスへ参加者氏名、所属をご記入の上、お申込みください
ai.45145@ai-hosp.or.jp
(相澤病院 リハセラピスト部門 鶴飼正二)



お問合先 日本ALS協会 長野県支部 事務局 原山あかね
Tel：026-263-6335(居宅介護支援事業所 手と手)
Fax：026-243-8820
E-mail akane_harayama@tetote7107.org



2026年1月吉日

関係者各位

日本 ALS 協会長野県支部
支部長 小林さゆり

「呼吸リハビリテーション研修会」のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年、ALS の呼吸症状に対して、痰の咯出や肺・胸郭を拡張し呼吸を良い状態に保つために「排痰補助装置」や「LIC トレーナー[®]」といった機器が利用できるようになってきています。しかしこれらの機器を使用した呼吸リハビリテーション（以下「呼吸リハビリ」）を提供できる医療従事者はまだ少なく、長野県内では十分普及しているとは言い難い状況にあります。

そこで、日本 ALS 協会長野県支部では、県内における呼吸リハビリの普及を目的に、ALS 当事者への診療等で直接関係されている医療・介護・福祉従事者の方々を対象にした研修会を下記の通り企画いたしました。講師には、呼吸リハビリの第一人者である国立精神・神経医療研究センターの寄本恵輔氏と有明陽佑氏をお招きし、神経筋疾患に対する最新の呼吸リハビリについて講義と実技を予定しております。

お忙しい中大変恐縮ではございますが、ALS 当事者の方々へより良い呼吸リハビリを普及するため、関係者皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

研修会名：「呼吸リハビリテーション研修会」

日 時：2026年2月8日（日） 10時00分～15時00分（お昼休憩1時間）

場 所：飯田市立病院 南棟 3F 講義室（飯田市八幡町 438）

講 師：国立精神・神経医療研究センター 寄本 恵輔 氏（理学療法士）
有明 陽佑 氏（理学療法士）

対 象：医師、看護師、リハ職種、介護福祉士、ヘルパー、ALS 当事者の支援に直接関わる方

定 員：30 名

参加費：3,000 円（ALS 協会長野県支部会員は 1,000 円）

申し込み：QR コードまたは下記メールアドレスまで氏名・所属・職種・会員/非会員をご記載ください。「ai.45154@ai-hosp.or.jp」（相澤病院 リハセラピスト部門 鶴飼正二）

※当日お弁当を希望される方は希望の有無もご記載ください。昼食代（800 円程度）は当日受付にてお支払いいただきます。

申し込み期限：2026年1月23日（金）



<参加申し込み QR コード>

【問い合わせ先】

日本 ALS 協会長野県支部 事務局 原山あかね

TEL : 026-263-6335（居宅介護支援事業所 手と手）

FAX : 026-243-8820

E-mail : akane_harayama@tetote7107.org

「排痰補助装置」、 「LIC トレーナー®」 とは？

- ▶ ALS が進行すると「呼吸障害」が出現し、肺活量の低下や胸郭・肺の低下により、無気肺や肺炎のリスクが高くなるといわれています。
- ▶ 近年では、こういった症状に対してより良い呼吸状態を保つために早期から適切な呼吸リハビリを実施することが推奨され、そのための機器として排痰補助装置や LIC トレーナーといった機器の開発が進んでいます。しかし、ALS は希少疾患であるためこれらの機器を用いた呼吸リハビリの経験の有する医療従事者はまだ少なく、県内では普及していない現状にあります。
- ▶ 日本 ALS 協会長野県支部では、県内の ALS 当事者の皆様に適切な呼吸リハビリが提供されるようになることを目的に、ALS 当事者の方に直接関わられている医師、看護師、リハセラピスト、ヘルパーの方々にその必要性や実際の使用方法を理解していただけるよう研修会を企画いたしました。

排痰介助・咳介助のための機械「排痰補助装置」

【メリット】

機械を用いて肺に空気を送り込み、急速に吸引することで気管支や肺にある痰などの分泌物を排出することができます。誤嚥性肺炎予防、吸引回数の減少、気管切開への移行を遅らせる。

【デメリット（注意点）】

肺気腫や気胸など肺実質に問題がある方や、心不全や自律神経障害を有する方は適応にならないことがある。現状では人工呼吸器を使用している方しか保険適応にならない。



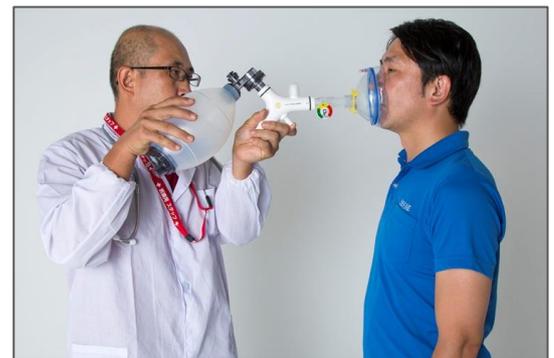
胸郭柔軟性・肺容量を維持・改善するための機材「LIC トレーナー®」

【メリット】

バックバルブマスクを用いて肺に空気を送り込み、その状態を保持することで排痰補助装置よりも肺・胸郭の拡張効果が得られる。肺活量や咳嗽力（咳の力）の維持・改善効果により、誤嚥性肺炎予防が期待できる。

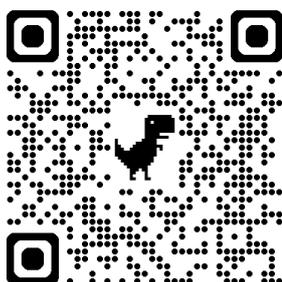
【デメリット（注意点）】

肺気腫や気胸など肺実質に問題がある方や、心不全や自律神経障害を有する方は適応にならないことがある。操作に練習が必要。



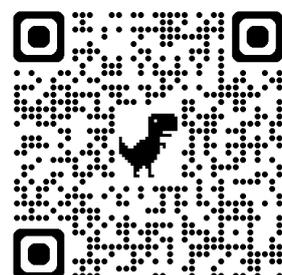
【LIC トレーナー ホームページ】

<https://carter-tech.jp/business/incurable-disease/>



【LIC トレーナー 使用方法の動画】

<https://carter-tech.jp/articles/2017/tsukaikata.html>





R7 年度最後の 難病患者さんの 「おしゃべり広場」

笑いあり、貴重な情報あり、毎回好評のおしゃべり広場。

それぞれ好きな飲み物やお菓子を食べながら気楽におしゃべりしましょう。

同じ病気の仲間となら話しやすいかも。明日の希望や勇気が持てるかも。

日時 令和 8 年 2 月 7 日 (土) ハイブリット開催
14:00~16:00 (2時間程度)
場所 社会医療法人栗山会 飯田病院 東棟 3 階 講堂
Zoom あり

* 国立精神・神経医療研究センターで呼吸リハビリ第一人者の寄本先生、有明先生にもご参加頂きますので、アドバイス頂けるチャンスです。

① 呼吸リハビリ (排痰補助装置や LIC トレーナー) の体験コーナー

② 様々な相談コーナー (車いすのこと、姿勢のこと、リハビリのことなど)

* 翌 2 月 8 日 (日) は飯田市立病院にて専門職向けの呼吸リハビリテーション研修会が行われます。両日参加可能ですが、会場が異なりますので、お間違いのないようお願いします。

対象者 長野県内の難病患者さん・ご家族 (会員・非会員・疾患名は問いません)

参加費 無料

申込締め切り R8 年 1 月 31 日 (土)

※各回の Zoom の URL 等は申し込みされた方、支部のメーリングリストに登録された方にお送りいたします。

※当日の Zoom 招待は 14 時 (15 分前から) となります。

日本 ALS 協会長野県支部 事務局 (担当 原山)

TEL 026-263-6335

FAX 026-243-8820

E-Mail: akane_harayama@tetote7107.org

参加申し込み



11/8 (土) 秋の交流会の様子

in 佐久市公民館 東地区館

司会 (原山) : それでは端から順に自己紹介と一言いただけますか？

Kさん (ヘルパー) : よろしく申し上げます。皆さんの楽しみを教えてください。

原山 : それでは自己紹介と合わせて皆さんの楽しみもお話してください。今回初めてご参加下さったNさん、お願いします。

Nさん : 坂城から参加させていただきました。楽しみは水泳です。週3回くらいの頻度でスポーツジムでもう12年くらいやっています。構音障害やコミュニケーション障害はありますがそれでも体は動きます。

Mさん (妻) : 長野市から来ましたMです。楽しみは一応液体の飲み物を口から飲めているので、近所のスターバックスで新作が出るたびに楽しんで飲んでます。それと筋肉が落ちてきて自力で目が明かないんですが、テープでまぶたを上げて本人が好きな「ワンピース」のTV放送を見てもらっています。

Aさん : 佐久市から来ましたAです。楽しみはこの間東京モーターショーに行ってきたして、その後「境を越えて」のイベントでチェロを聞きに行ってきました。

原山 : Aさん、お一人暮らしを始めたと同っていますが、いつからですか？

Aさん : 7月2日からです。鹿教湯病院には16年お世話になりました。6歳から40うん歳まで施設や病院に入っていました。一人暮らしは最高です！今は4~5人のスタッフで24時間みてもらってます。本当にありがたいです。前から交流会に来たいと思っていたのですが、今回佐久でようやく参加できました。



Kさん (ヘルパー) : Kです。ALS歴17年です。私はカフェめぐりが好きです。よろしく申し上げます。

Kさん (コーディネーター) : 近況としましては皆さんに春の交流会で見ていただいた短編ドキュメンタリーが、愛知国際女性映画祭でノミネートされ、多くの方に見ていただきました。それと東京ドキュメンタリー映画祭でも今度ノミネートされて、12月に新宿南口の劇場に見に行こうかと話しています。

原山：「Because Time Is Life」という天野監督の映画で、32分と短い時間にKさんの思いも凝縮された映画ですね。劇場公開なんかは？

Kさん（コーディネーター）：話がなくもないみたいで、配給会社と話をしているみたいです。どうなるかはわからないんですが・・・。新宿南口では12/9と12/18日に上映されるようで12/18日に行こうかという話をしています。

原山：カフェめぐりは最近どこに行かれたんですか？

Kさん（ヘルパー）：この間善光寺の下にある麴を使ったお店で、ハーブティを飲んだりしてきました。須坂の新しくできたイオンモールにもさっそく行ってきました。

原山：それでは今回初参加のOさんお願いします。

Oさん：初めまして、長野市から来ましたOです。こういう交流会には初めての参加なので、ちょっと緊張しています。日々の楽しみは音楽が好きなのでライブに行ったり、ヘルパーさんと色々な所に買い物に行くのが楽しみです。よろしくお願いします。



原山：ずっとお誘いしていて、ようやくご参加いただけて本当に嬉しかったです。Oさんは俳句も得意で、支部だよりも投稿してくださいました。またお願いします。ライブはどこに行かれたんですか？

Oさん：去年は色々行って武道館や金沢にも行ってきました。推しはユニゾンスクエアガーデンです。

萩原：何か有名な曲ありましたよね、「シュガーソング」でしたっけ？

Oさん：そうです。

原山：次はオンラインの方をお願いします。Tさんお願いします。今の楽しみもお願いしますね。

Tさん（ヘルパー）：長野市のTです。よろしくお願いします。日々の楽しみはドラマを見ることです。今の一押しは「ロイヤルファミリー」です。

原山：次にDさんお願いします。先ほどDさん会場に来て下さったんですけど、お子さんのお迎えがあるということで、先にお帰りになったんですが、zoomで再度入って下さいました。

Dさん：今日は途中で失礼しました。今は本当にしゃべりづらいのが大変ですが、子育ても頑張りたいと思います。

原山：お仕事も頑張られているんですか？

Dさん：仕事もできるだけ長く続けられるように、7月に時間的に余裕を持って仕事ができる部署に異動して頑張っています。

Tさん：日々の楽しみはLINEでお話をする事です。

原山：Tさんはスタンドタイプの車椅子のペルモビールも、お試し使用もされています。県内でも体験された方は少ないと思います。試乗されたい方は事務局に連絡をいただければおつなぎできると思います。

中川：スタンディングタイプでなければ、Aさんも電動のペルモビール使われています。

Aさん：今日はこんなにたくさんの方にお会いできて嬉しいです。先日ICLの目の手術を受けました。近視がひどくて眼鏡が手放せなかったんですが、ICLの手術を受けて快適になりました。目の手術をするのが怖くて二の足を踏んでいたんですが、呼吸器になる前に手術をしておけば、東京まで行って手術しなくて済んだのにと思いました。私も推し活楽しんでいます。来週Snow Manのライブで北海道に行く予定です。よろしく願います。

原山：Kさんの今の楽しみを聞いていなかったのて教えてください。

Kさん（ヘルパー）：私の今の楽しみは、外出と口から飲むこととヘルパーさんとお話することです。miyasukuでインスタもやっているのて皆さん見てください。



原山：初めて参加のOさん、感想か何かありますか？

Oさん：今日の内容が「災害対策」がテーマで、私の家は山手の方なので、災害の時にどうしようかと思っていたのですが、今回の研修会が参考になりました。ありがとうございました。

原山：そうですね、災害の対策というのはきりがありませんが、ある程度備えておいていただくと安心かと思えます。これを機会に考えていただければと思います。太田さんから災害に関して何か付け加えることはありますか？

太田：先ほど講義でお話した内容は「日本ALS協会長野県支部」のホームページにも詳しくの

っています。そちらも参考にいただければと思います。また「災害用伝言ダイヤル使用マニュアル」のデータもダウンロードできるようになっています。それぞれのご家庭でご活用ください。それと HondaCars 長野中央さんからのお話で今後は Honda で普通車の電気自動車の販売も予定されているというお話も伺いました。数年先に EV 車の普及が進めば、こうした EV 車貸与の取り組みも不要になるかもしれませんが、それまでは支部で頑張って取り組んでいきたいと思っています。

中川：支部では災害対策に関わらず、皆さんからお寄せいただいたご意見をもとに、県への要望なども取りまとめていきますので、遠慮なくご意見いただければと思います。



11月16日、全国支部担当者会議に参加しました

副支部長 中川真人

日本 ALS 協会本部で開催された全国支部担当者会議に、長野県支部として参加してきました。今回の会議には全国の支部から集まり、支部活動や工夫していること等を共有しました。また問題点や困っていることについて話し合いました。特に各支部で実施している災害対策や、長野県支部でも実施している呼吸リハビリテーション研修会については、熱心に議論があり印象的でした。野球観戦など楽しい活動を通して会員の交流を図っている支部もあり、長野県支部も楽しく活動していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



追悼 元長野県支部運営委員 中嶋岳大さん

長野県支部の運営委員としてH26年度～R5年度の丸10年間、ALS患者・家族・支援者のために大変ご尽力を頂きました。元市職員ということで県や市との交渉はお手のもの、会計監査としてのお仕事も正確かつ的確なご指摘、交流会ではZoom配信のビデオ係・・・と何をお願いしても絶大な信頼でお任せすることができました。運営委員として欠くことができない存在だった中嶋さんから一昨年度役員退任のご丁寧なお手紙を頂いた際には病気により社会貢献活動が叶わない無念さと支部へのエールを寄せていただき胸が詰まる想いでした。中嶋さんの想いを繋いでいくことが唯一の恩返しになると信じております。本当にありがとうございました。



R7年 12/17 (水) 県へ要望書提出・懇談の報告

県庁にて県へ要望書を提出・懇談の場を設けていただき、特に災害対策、3号研修、療養環境（地域移行の環境整備・重度訪問介護）について患者の実情を踏まえて、直接お伝えする機会となりました。

<参加者>

長野県健康福祉部	健康福祉政策課	1名
	医療政策課	2名
	障がい者支援課	1名
	疾病・感染症対策課	2名

長野県支部	小林さゆり支部長	金子事務局次長
	鵜飼正二運営委員	赤沼さち子運営委員
	斉藤稔運営委員	原山あかね事務局長

* 要望書の内容と県からの回答は次回の支部だよりで掲載します。



皆さんに伝えたい

わが家のりゅうぎ

Vol2. 松本市 赤沼さち子

「私のコミュニケーション方法 透明文字盤」

私がコミュニケーションに透明文字盤を使い始めたのは、構音障害が少しずつ出始めてきた頃でした。

最初は、自分の声で伝えるのが難しい音や単語だけを透明文字盤で伝える補助的な使い方から始まり、私もヘルパーさんも少しずつ透明文字盤を使うことに慣れていきました。

症状の変化と共に発話が難しくなり、透明文字盤で補う音や単語が段々と増えていく中で、いつの間にか今のように全ての会話を透明文字盤で行うようになっていました。

今では私のチームのヘルパーさん達は、電話でも会話が成り立つくらいの速さで透明文字盤で私の言葉を読み取って下さいます。

今日は、そんな私のチームの透明文字盤の使い方やコツについてご紹介させていただきたいと思います。

1, 私が使っている透明文字盤はこのようなデザインです。

ヘルパーさん達の意見を聞いたり先輩患者さん達の透明文字盤を見せていただきながら、

何回も改良を重ねてこのようなデザインになりました。

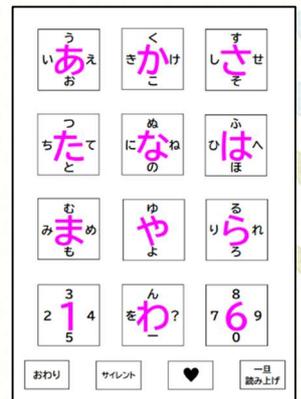
文字の配列はヘルパーさんから見た時にスマホのフリック入力と同じ配列になっています。普段フリック入力を使っている方は慣れるのが早いです。

私のチームのヘルパーさん達は、勤務時は常にこのように腰に1人1枚透明文字盤を吊るしています。金具はリールになっていて、都度外さなくてもそのまま使う事ができるようになっています。

腰に吊るしていても、危険がなく邪魔にならないサイズを追求してA4になりました。行の文字がピンク色なのは、ただ可愛いかなと思ったからです。

透明文字盤のデザインはWordでデータを作ってあり、OHPシートに家庭用プリンターで印刷し、ラミネート加工して手作りしています。

OHPシートはAmazonで20枚1000円くらい、ラミネートフィルムもAmazonで20枚1000円くらいです。



2, 私のチームの透明文字盤の使い方のルール

- ・私がヘルパーさんの腰につけている文字盤に視線を向けたら、文字盤でのコミュニケーションをスタートする。
- ・介助者の目と文字盤、文字盤と私の目の距離はそれぞれ 30cm くらいの間隔をとる。
- ・透明文字盤をとる人は私の正面に立つ。
- ・ピンクの文字で視線が合う文字を探し、そのまま視線が動かなければ行確定。(例えば「あ」で視線が合えば「あ」行) 確定のサインは時短のため省略で、なんとなくフィーリングで。
- そこから上下左右のいずれかに視線が動けば、動いた方向の文字を読み上げる。(例えば「あ」行で右に視線が動けば、伝えたい文字は「え」)
- 視線が「あ」から動かない場合は、伝えたい文字はそのまま「あ」となる。
- ・濁点は目を強くつぶる。半濁音は文脈で判断したり、どうしても伝わらない時は口パクで合図。・最後は必ず終わりのマークで視線が合ってから終わる。

3, 私のチームの透明文字盤での介助のルール

私のチームでは、透明文字盤でコミュニケーションを取るときは、「文字盤で文字を読み取る人」と、「読み上げられた文字をメモし文章を読み上げる人」の2人1組で介助します。

【文字盤で文字を読み取る人のルール】

- ・一文字一文字を確実に拾う。
- ・頭の中で単語に変換できなくてOK。
- ・“は”を“wa”と読み上げないようにする。あくまで“ha”と読む。
- ・間違えた時はメモの人にもわかるように、「〇〇じゃなくて△△」のような声かけをする。
- ・メモの人に聞こえる音量を意識する。

【読み上げられた文字をメモし文章を読み上げる人のルール】

- ・視覚はシャットダウンして聴覚に全集中する気持ちで、読み取る人の声を聞く。
- ・聞き取れなかった時は積極的に止める。
- ・お話しをしている相手が文字盤に慣れてる人で、読み取られた文字から内容を把握している様子だったとしても、気にせずに自分の仕事をする。(聞き取れなかったら止める、聞き取り終わったら読み上げる等)

以上、私のコミュニケーション方法 透明文字盤でした。

ご参考になることがありましたら嬉しいです。

もし、私が使っている透明文字盤をお試しになられたい方がいらっしゃいましたらデータを差し上げますのでご連絡ください。

『本 ALS 協会長野県支部では「わが家のりゅうぎ」でご紹介させていただく方を募集しています。ご協力いただける方は事務局 (akane_harayama@tetote7107.org) までご連絡ください。

作業療法士

中川真人副支部長の福祉用具相談窓口

私は鹿教湯病院で ALS の患者さんを担当し支援しています。
生活の中でお困りごとがあれば気軽にご相談ください。
ご相談の内容によってはご満足いく回答ができないことがあります。
ご了承ください。



対象者 : 長野県支部の患者さんやご家族, その関係者の方。
得意分野 : スマートフォンやパソコン等のコミュニケーション機器,
リフト等の福祉用具,
スマートスピーカーやスマートリモコン等の IOT 家電。

連絡先 : als.nagano.ot@gmail.com

※右上の QR コードから読み取り可能

長野県支部連絡先 *ホームページのお問い合わせフォームあります。

<https://als-nagano.jp/>

事務局 原山 TEL 026-263-6335 (居宅介護支援事業所 手と手)
FAX 026-243-8820
長野県支部 E-mail : als.naganoken@gmail.com
事務局直通 E-mail: akane_harayama@tetote7107.org



※長野県難病相談支援センター 難病相談支援員 両角由里氏
松本市旭 2-11-30 TEL 0263-34-6587 Fax 0263-34-6589
E-mail : nanbyo@shinshu-u.ac.jp
両角由里氏には顧問をお願いしております。お困りごとやご相談などありましたらご連絡ください

協会本部の新サイト、会員になると詳細に見ることができます☆

ALS 療養情報をいつでも・どこでも

新サイト「ALS 療養の知恵袋」<https://chie.alsjapan.org/>

★入会手続きは、入会申込書（事務局へ連絡）または協会ホームページ
からWEB申し込み可能 <https://alsjapan.org>

故K.Yさんが、生前「HALの良さを皆さんに紹介したい」と原稿を作成してくださいました。まだ編集途中のものをこちらで掲載させていただきます。誤字などはご容赦ください。

HALおもしろいリハビリ体験!

動くを持続可能に繋ぐ〜脳騙し旅



中村先生、リハビリの皆様には、いつもモチベーション維持の力を頂いています。中村先生の一言が元気が繋がります!



MOMO(手の補助具)を使い継続できる時の力加減の参考にもなりました。

まつもと医療センター



HALリハビリ期間限定体験! めちゃくちゃおもしろい!

楽しい!と単純に感じる体験

リハビリは、いつの間にか、動かしてもらっているに近いです事を忘れていたりして...それが、HALを介してリハビリをすると自分の筋肉のこの部分の使っているとか意識付けしながらイメージして、自分が動かそうとすると、HALがサポートしてくれて、グラフにも出て来るので自分の動かそうとする力が可視化され、希望がうまれ励みとなる。



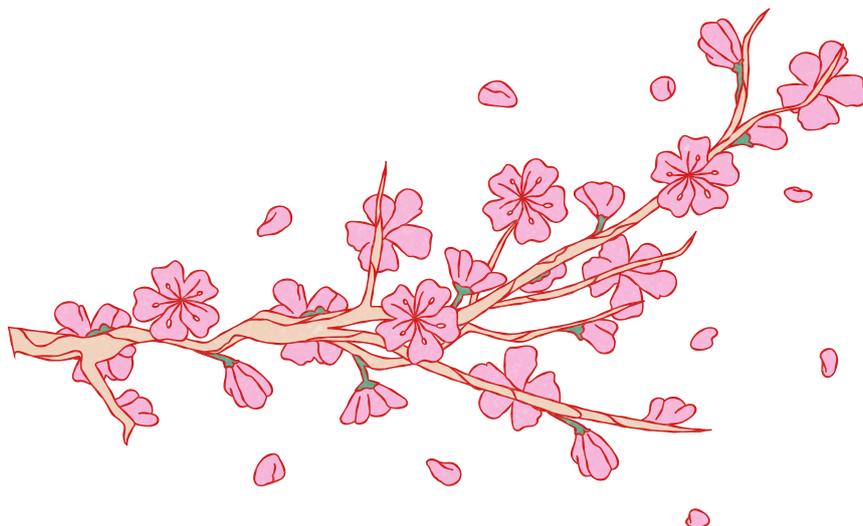
リハビリの中で、自分が動かそうとする識がとても大切なのだとか改めて実感しましたし、その動かそうとする回復運動が、自分の運動神経の伝達を繋がらせていくと話すのを業者の方の中で、最も病気の挑み方の中で、救いとなる言葉であった。



支部の動き

(令和7年9月～12月)

9月6日(土)	支部だよりNo.42発行
9月8日(月)	長野市Aさん宅訪問(原山)
9月13日(土)	役員会⑤ おしゃべり広場③ Zoom 参加者16名
10月5日(土)	役員会⑥
10月16日(木)	臨時役員会
10月19日(日)	難病連主催 ピアサポート研修会 清泉大学東口キャンパス(原山)
11月3日(祝)	3号研修① 講義 基本研修1日目 長野市ふれあい福祉センター
11月8日(土)	<p>秋の交流会 佐久市公民館東地区館&Zoom (現地参加 50名 オンライン参加 21名 合計71名) 講演テーマ 「東信地域における難病患者の災害対策」</p> <p>①「長野県としての難病患者の災害対策」 上田保健福祉事務所 「個別避難計画と福祉避難所の現状と課題」 佐久市福祉課</p> <p>②「具体的な災害対策の取り組み(事例発表)」 佐久総合病院指定居宅介護支援事業所 ケアマネジャー小林佳代氏 支部運営委員 太田貴文氏</p> <p>③「EV車貸与の取り組みについて」 ホンダカーズ長野中央</p>
11月9日(日)	第15回長野県難病ケアシンポジウム(原山)
11月16日(日)	全国支部担当者会議(中川・赤沼・中屋・原山)
11月24日(祝)	3号研修① 講義・演習・修了テスト 基本研修2日目 北部スポーツ・レクレーションパーク
12月13日(土)	役員会⑦ おしゃべり広場④ Zoom 参加者20名
12月17日(水)	県へ要望書提出・懇談会 (小林さゆり支部長・金子・斎藤・鶴飼・赤沼・原山)
12月28日(日)	下條村Kさん宅訪問(原山)





「医療と介護と福祉」であなたと家族を支えたい

アムールグループ

重度訪問介護

連絡先：026-217-1512
担当：三戸部

♪アムールイメージソング♪



難病をお持ちの方へのケアが可能

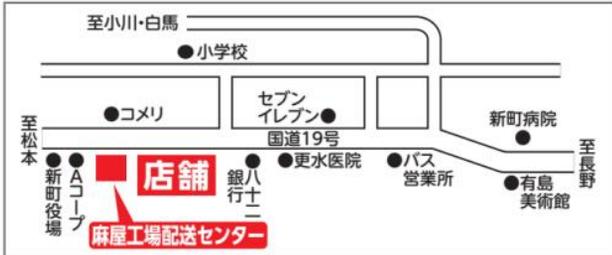
重い障害がある方でも、生活全般の介護サービスを手厚く提供できる

喀痰吸引等の医療的ケアを実施可能なスタッフが揃っている

重度訪問介護従事者研修等を受講していることで
喀痰吸引や医療ケアが伴う介護サービスに従事できる

24時間365日対応可能

総合的（見守り・身体介護・生活支援など）サービスを
長時間ご提供できることから、ご利用者様の「社会参加」をサポートできる



あさや 麻屋の介護保険サービス

- 1.福祉用具のレンタル
(ベッド・車イスなど13種目)
- 2.福祉用具の販売
(ポータブルトイレ・シャワー椅子など5種目)
- 3.住宅改修
(手すりの取付・床材の変更・洋式便器への取替など)

当社サービス実施区域

長野市・千曲市・須坂市・小布施町・小川村・
大町市・小谷村・白馬村・生坂村・安曇野市・
池田町・松川村・松本市 その他

介護保険 福祉用具レンタル指定事業所
事業所番号 2073400174
事業所名 **(株)麻屋家具製作所**
〒381-2405 長野市信州新町 新町698
TEL 026-262-2073 FAX 026-262-4894
お申し込み・お問い合わせ 御注文は **026-262-2073**
長野事務所 長野市稲里町中央

大北営業所

〒399-8501
北安曇郡松川村7027
TEL 0261-62-4321
FAX 0261-62-0671



お申し込み・お問い合わせ 御注文は **0261-62-4321**

すべては、安全・安心の医療のために・・・

- 医療関連機器・喀痰吸引器機等の販売・メンテナンス
- 住環境、事務所環境（冷暖房設備）及び防災対策（BCP）商材販売
- 各種ガス供給（産業、LPG、医療用）
- 各種ガス設備工事 設計・施工
- 各種ガスの保安活動
- ※高度管理医療機器等販売・貸与業／医療機器修理業許可取得業者

岡谷酸素株式会社

<http://www.okayasanso.co.jp>

本社/〒394-8585 長野県岡谷市幸町6-6 TEL: 0266-22-5531
松本/〒399-0004 長野県松本市市場6-20 TEL: 0263-27-3091
長野/〒381-8560 長野県長野市中越1-1-1 TEL: 026-251-0305
新潟/〒950-2033 新潟県新潟市西区亀貝3382 TEL: 025-260-2898

大好評

『ALSケアガイド』の補遺版 発行

ご注文受け付けます！



これまでに、長野県支部だけでも220部以上お買い上げ頂き、大好評の「ALSケアガイド」、この度、「第13期手のひらパートナープログラム」の助成を受け、補遺版が発行されました。発行当時にはなかった、昨今の課題である「第3号研修」「重度訪問介護」「災害対策」について詳しく解説されています。「ALSケアガイド」本体と合わせてご活用頂ければ幸いです。

- ★ALSケアガイド補遺版・・・無料（送料も助成されるため無料）
 - *ただし、過去にALSケアガイド本体を注文された方、または今回同時注文される方に限りです
 - ★ALSケアガイド（本体）・・・1冊1500円（税込み）+送料430円
- ご希望の方がいらっしゃいましたら下記へご連絡ください。

長野県支部事務局 Tel 026-263-6335 Fax 026-243-8820
E-mail als.naganoken@gmail.com

LINE オープンチャット開設のお知らせ

日本 ALS 協会長野県支部では、支部からの情報提供や会員の皆さま同士の情報交換、交流を目的として、**会員限定の LINE オープンチャット**※を開設いたしました。

※LINE オープンチャットとは、LINE の「友だち」登録なしで、共通の趣味や興味関心を持つ人々と匿名で交流できるグループチャット機能です。

◆オープンチャット概要

名称：日本 ALS 協会長野県支部会員限定オープンチャット

対象：日本 ALS 協会長野県支部の会員のみ

参加条件：**実名での参加**をお願いします

◆参加方法

下記 QR コードよりご参加ください。



参加するには 支部事務局の認証が必要となります。
事務局原山（026-263-6335）までご連絡ください。

◆ご利用にあたってのお願い

- 本オープンチャットは、会員間の情報交換や交流を目的としています。
- 必ず実名でご参加ください。ニックネームでの登録はご遠慮ください。
- 他の会員への敬意をもち、節度あるやり取りをお願いいたします。
- 個人情報や機密性の高い内容については、取り扱いに十分ご注意ください。

会員の皆さまのつながりを深め、支え合える場となれば幸いです。

ご不明な点がございましたら、支部事務局までお問い合わせください。